

優秀賞

わたしのはっけん！

三重県 東員町立笹尾西小学校二年 石井 文乃

朝おきて、朝ごはんを食べます。はをみがいて、きがえます。学校へ行って友だちとあそんだり、ベんきょうをしたりします。学校がおわると、学どうクラブやならいごとへ行きます。そうしてたのしい一日がおわります。これがわたしの「あたり前」でした。

手足口びょうにかかり、「あたり前」がこわされました。口の中がいたくてごはんが食べられなくなつてとてもくるしかつたです。ねつが出たので二日かん学校を休みました。友だちにも会えなくてさみしかつたです。学どうクラブにもならいごとにも行けませんでした。ミミズがひからびそうになつてもがいているような気もちになつて、体も心もくるしかつたです。「早くなおしたいな」「みんなと早く会いたいな」と、ずっと思っていました。

手足口びょうになつて三日目、すこしだけごはん

が食べられるようになりました。体のぶつぶつはまであつたけど、ねつが下がつたので、学校にも行くことができました。学校でべんきょうしたり、友だちとあそんだりできて、すごくたのしくてうれしかつたです。わたしの「あたり前」の一日がやつともどつてきました。「とても、とても、しあわせな一日をすごしていたんだな」と、あたり前にすごせるしあわせに気がつきました。

びょう気になつてとつぜん、わたしの「あたり前」がこわされたように、また何かがおこらないかすこしふあんです。だからわたしは「しあわせのもと」をつくることをがんばっています。ごはんをしっかりと食べてじょうぶな体をつくりたいです。たくさんあそんだりべんきょうしたりして、心やあたまをよくします。ぐっすりねむつて、つかれをいやします。つづけていくと「しあわせのもと」がたまつて、あ

たり前のまい日をすごすことができると思います。

そんな時に『へいわつてどんなこと?』という本を読みました。わたしのあたり前のしあわせが、へいわだということを知りました。おかあさんから、あたり前のしあわせを知らない子どもがいることや、しあわせのものをためられない子どもがいることを教えてもらいました。わたしは、もっとべんきょうをして、しあわせのものをつくるためにできることをもっと知りたいです。じぶんだけじゃなくて、だれもきずつかないせかいにしたいです。みんながあたり前のしあわせなまい日をすごせたら、すてきなと思います。そのねがいがほんとうになつたらうれしいです。

手足口びょうになつた時は、くるしくてたいへんだつたけど、今まで気がつかなかつたことをはっけんできてよかつたです。手足口びょうに、ちよつとだけかんしゃしたいです。

